

# 令和2年 第1回 古地図散歩報告 (9月20日実施)

## 「御成道を歩く ～家康が通った往時を偲びながら～」 講師：松尾 一 氏

〔当日コース〕 ※コロナウイルス対策の関係からコース縮小・昼食は解散後に各自で。

名鉄岐阜駅→細畑駅→岐阜女子高等学校→御成道→両天橋→中山道→御鯨街道→溝端公園

### 1. 概要 (当日レジュメより)

「御成道」とは、将軍が通行していた街道のいわば通称で、岐阜にもある。

尾張から岐阜町に至る御成道は、慶長5 (1600) 年9月15日、家康が勝利した関ヶ原合戦の時に通った道筋で、縁起が良く、吉例街道とも呼んでいた。9月13日、清洲を出発した家康は、北方 (一宮市) から舟で木曾川を渡り円城寺 (笠松町) を経由して岐阜城下の善行寺に到着している。伝承では家康は善行寺裏の権現山で一夜を過ごしたとか。

元和5 (1619) 年、岐阜町が尾張藩領になると、藩主が岐阜町を訪れることが慣例となり、縁起が良い、この御成道を通った。

御成道は名古屋城下から美濃路、岐阜街道を通り北方で岐阜街道を離れ、北上して、木曾川を渡り、円城寺から羽島郡岐南町内の中野、伏屋、三宅、上印食とさらに北上し、両天橋 (岐阜市・岐南町境) で境川を渡り、岐阜市に入り、細畑で中山道に合流、細畑から中山道で加納宿に到り、加納宿から岐阜街道で岐阜町へ至るコースである。

### 2. 歩いたコース地図

